



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,063	△12.7	184	13.8	176	0.7	125	17.6
2020年3月期第2四半期	3,509	△2.5	161	△27.2	175	△28.4	106	△21.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 167百万円 (150.9%) 2020年3月期第2四半期 66百万円 (△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.87	—
2020年3月期第2四半期	16.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,822	13,955	88.0
2020年3月期	16,210	14,008	86.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,921百万円 2020年3月期 13,973百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△12.8	355	△17.2	355	△25.2	240	△24.2	37.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,992,000株	2020年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	669,882株	2020年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	6,322,118株	2020年3月期2Q	6,322,118株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、全世界に新型コロナウイルスの感染が拡大し、国内は緊急事態宣言が発出され、海外においてはより強固な都市封鎖なども行われるなど、経済活動にもかつてないほど大きな影響が及ぼされることとなりました。その後、国内外ともに経済活動が再開されたものの、再び感染が拡大する地域もあり、決定的な感染予防策がない中で、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、現在取り組んでいる様々な分野において新型コロナウイルスの影響を受けるなか、現場の状況を理解したスペシャリストが細かく対応しながら、取引先とともに製品を創り上げて行く従来のスタイルを継続してきました。また、さらなる高付加価値製品を生み出すために、新たな分野への取り組みを各取引先との連携をより密にしながら挑戦し続けてまいりました。一方では、製造経費等の削減努力を引き続き行ってきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,063百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は184百万円（同13.8%増）、経常利益は176百万円（同0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円（同17.6%増）の減収増益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## (反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場は引き続き織物在庫過多による北陸市場への発注が大幅に減少、海外市場においても当社グループがターゲットとする高級衣料分野が低迷し、加えて新型コロナウイルスの影響を受け、国内外ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。

製紙・印刷関係は、紙加工分野の出版物およびパッケージ減少から市場の低迷は続いており、またダイレクトメール用圧着ニスも市場の縮小傾向が続いているなか、さらに新型コロナウイルスの影響により市場全体が縮小化し、全体として前年同期を大きく下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内外市場ともに引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、テレワーク等働き方の変化および外出自粛等の影響などからヘアセット用樹脂が低迷し、洗浄剤用樹脂は洗浄系商品の国内消費が増加することで好調を維持したものの、ヘアセット用樹脂の低迷をカバーするまでには至らず、全体として前年同期を下回る結果となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂では国内外ともに、繊維関係は引き続き低迷しましたがフィルム関係は全体的に堅調に推移し、また海外フィルム市場では新規ユーザーでの採用および使用もあり、全体として前年同期を大きく上回る結果となりました。転写関係は国内外市場ともに新型コロナウイルスの影響でコップやお皿の景品企画がなくなり、前年同期を大きく下回りました。メッキ関係の国内車載関連はメーカー各工場の影響を受け低調に推移しましたが、海外市場は中国食品軟包装分野が力強い回復をみせ、グラビア印刷業界好調の影響で前年同期を上回りました。

その結果、当セグメントの売上高は2,673百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は470百万円（同0.2%減）となりました。

## (混合系製品)

一般的に新型コロナウイルスの影響を受ける中、プリント配線板市場は一般家電品、自動車関連及びアミューズメント業界の低迷により前年同期を大きく下回りましたが、テレワーク等の拡大により海外PC関連分野は堅調に推移しました。電子部品関連は国内外ともに5G市場が堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

また新たに電池関連の製品が徐々に量産され、販売が拡大しつつあります。

その結果、当セグメントの売上高は390百万円（前年同期比18.6%減）、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

このため、前第2四半期連結累計期間の各セグメントの営業利益又は損失については変更後の算定方法により組替えて比較を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,822百万円と前連結会計年度末に比べ、387百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ584百万円減少し9,478百万円となりました。これは、現金及び預金が156百万円、受取手形及び売掛金が248百万円、電子記録債権が92百万円、商品及び製品が72百万円、原材料及び貯蔵品が10百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ196百万円増加し6,344百万円となりました。これは、有形固定資産が45百万円、無形固定資産が2百万円、投資その他の資産が148百万円それぞれ増加したことによるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ331百万円減少し1,347百万円となりました。これは、未払金が132百万円、その他に含まれる前受金が19百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が152百万円、電子記録債務が156百万円、未払法人税等が50百万円、役員賞与引当金が28百万円、その他に含まれる未払消費税等が93百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ2百万円減少し520百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が3百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が6百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ53百万円減少し13,955百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が52百万円増加しましたが、利益剰余金が95百万円、為替換算調整勘定が9百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から156百万円減少し、1,502百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は229百万円（前年同期比46.3%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益176百万円（同16.6%増）に対し、役員賞与引当金の減少額28百万円（前年同期は減少額0百万円）、仕入債務の減少額307百万円（前年同期比79.7%増）及び未払金の減少額28百万円（同70.1%減）、未払消費税等の減少額94百万円（前年同期は増加額130百万円）、法人税等の支払額93百万円（前年同期は還付額65百万円）などがあつたものの、減価償却費161百万円（前年同期比9.0%減）、売上債権の減少額358百万円（同129.1%増）、たな卸資産の減少額85百万円（同22.0%増）があつたこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は167百万円（前年同期は増加8百万円）となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出105百万円（前年同期比49.2%減）及び有形固定資産の取得による支出57百万円（同47.1%減）があつたこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は220百万円（前年同期比0.1%減）となりました。これは、配当金の支払額220百万円（同0.1%減）があつたことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月2日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

詳細につきましては、2020年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,630,307	6,473,753
受取手形及び売掛金	1,582,599	1,334,200
電子記録債権	311,188	218,743
商品及び製品	728,440	656,274
仕掛品	303,668	300,517
原材料及び貯蔵品	464,103	453,376
その他	45,722	50,587
貸倒引当金	△3,659	△9,113
流動資産合計	10,062,370	9,478,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,498,883	4,512,784
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,192,976	△3,232,072
建物及び構築物 (純額)	1,305,906	1,280,711
機械装置及び運搬具	6,743,498	6,761,530
減価償却累計額	△6,266,429	△6,323,967
機械装置及び運搬具 (純額)	477,068	437,563
工具、器具及び備品	1,169,283	1,194,003
減価償却累計額	△1,008,207	△1,033,852
工具、器具及び備品 (純額)	161,075	160,151
土地	2,598,880	2,598,880
建設仮勘定	7,775	119,017
有形固定資産合計	4,550,707	4,596,323
無形固定資産	67,299	69,648
投資その他の資産		
投資有価証券	1,377,231	1,552,266
繰延税金資産	133,059	110,691
その他	34,566	30,670
貸倒引当金	△15,122	△15,058
投資その他の資産合計	1,529,734	1,678,569
固定資産合計	6,147,741	6,344,541
資産合計	16,210,111	15,822,881

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	467,533	315,453
電子記録債務	520,432	363,806
未払金	151,896	284,415
未払費用	—	900
未払法人税等	110,326	59,518
賞与引当金	205,355	203,277
役員賞与引当金	28,000	—
その他	195,240	120,315
流動負債合計	1,678,785	1,347,688
固定負債		
役員退職慰労引当金	62,582	66,287
退職給付に係る負債	459,849	453,777
固定負債合計	522,432	520,065
負債合計	2,201,217	1,867,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,859,108	12,763,440
自己株式	△696,010	△696,010
株主資本合計	13,833,088	13,737,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,924	185,070
為替換算調整勘定	10,835	1,440
退職給付に係る調整累計額	△3,052	△2,888
その他の包括利益累計額合計	140,707	183,621
非支配株主持分	35,098	34,086
純資産合計	14,008,893	13,955,128
負債純資産合計	16,210,111	15,822,881

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,509,923	3,063,827
売上原価	2,311,644	1,980,751
売上総利益	1,198,278	1,083,075
販売費及び一般管理費	1,036,494	898,986
営業利益	161,783	184,088
営業外収益		
受取利息	5,286	7,016
受取配当金	7,659	6,267
為替差益	4,036	—
受取ロイヤリティー	524	186
その他	6,377	3,573
営業外収益合計	23,885	17,043
営業外費用		
売上割引	5,988	6,973
為替差損	—	13,166
持分法による投資損失	3,373	3,215
その他	1,029	1,314
営業外費用合計	10,390	24,670
経常利益	175,278	176,462
特別利益		
固定資産売却益	11,607	—
特別利益合計	11,607	—
特別損失		
役員退職慰労金	28,507	—
固定資産除却損	7,105	93
特別損失合計	35,612	93
税金等調整前四半期純利益	151,273	176,368
法人税、住民税及び事業税	48,504	49,806
法人税等調整額	△4,102	1,363
法人税等合計	44,402	51,170
四半期純利益	106,870	125,198
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,848	125,644
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△445



(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,107	52,145
為替換算調整勘定	△21,034	△9,970
退職給付に係る調整額	58	173
その他の包括利益合計	△40,083	42,348
四半期包括利益	66,787	167,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,743	168,559
非支配株主に係る四半期包括利益	△955	△1,011

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	151,273	176,368
減価償却費	177,571	161,676
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,032	5,468
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,001	△2,077
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△37,266	3,705
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△500	△28,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,898	△6,563
受取利息及び受取配当金	△12,946	△13,283
為替差損益 (△は益)	△137	△8,013
持分法による投資損益 (△は益)	3,373	3,215
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11,607	—
有形固定資産除却損	7,105	93
売上債権の増減額 (△は増加)	156,279	358,012
たな卸資産の増減額 (△は増加)	69,805	85,146
仕入債務の増減額 (△は減少)	△171,266	△307,755
未払金の増減額 (△は減少)	△93,656	△28,002
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,217	926
未払消費税等の増減額 (△は減少)	130,439	△94,985
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,369	△6,043
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,368	9,974
その他	3,434	△1,473
小計	347,811	308,387
利息及び配当金の受取額	14,138	14,046
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	65,181	△93,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,132	229,421
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,371,245	△2,340,949
定期預金の払戻による収入	2,371,007	2,340,939
有価証券の償還による収入	300,000	—
投資有価証券の取得による支出	△207,411	△105,292
有形固定資産の取得による支出	△108,435	△57,377
無形固定資産の取得による支出	—	△4,858
有形固定資産の売却による収入	26,233	—
貸付けによる支出	△1,980	△338
貸付金の回収による収入	347	710
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,515	△167,168
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△221,019	△220,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,019	△220,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,071	2,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	207,557	△156,386
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,336	1,659,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,454,893	1,502,981

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,030,369	479,553	3,509,923	—	3,509,923
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,944	—	79,944	△79,944	—
計	3,110,314	479,553	3,589,868	△79,944	3,509,923
セグメント利益 又は損失(△)	471,804	△10,517	461,286	△299,502	161,783

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△299,502千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っ  
ております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,673,404	390,422	3,063,827	—	3,063,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,708	—	65,708	△65,708	—
計	2,739,112	390,422	3,129,535	△65,708	3,063,827
セグメント利益 又は損失(△)	470,679	△22,295	448,384	△264,295	184,088

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,295千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っ  
ております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。